

αリポ酸R体・γCD包接体 強壮など

αリポ酸の安定化に成功

シクロケム

シクロケム(東京都中央区、〒103-5614

体・γCD包接体」を扱う。

7147)は、「勃起障害(ED)」との関連性が高い糖尿病を治療するR体のαリポ酸をγシクロケムストリンで包接し安定させた「αリポ酸R

自律神経障害と血管障害を持つ糖尿病患者は動脈硬化が進み、細い陰茎の血管内皮や神経末端から分泌される一酸化窒素量が減少する。減少する

と、陰茎海綿体にあるサイクリックGTP血管を拡張する神経伝達物質が働かなくなり、平滑筋の拡がり妨げられ、陰茎動脈の血流は減って勃起しにくい状態となってしまう。

男性の糖尿病患者の30〜40%はEDであり、生涯にわたってEDを発症する率は60%以上にもなるという統計(同社調べ)もある。

糖尿病合併症のED患者15名を対象にしたαリポ酸の効果検証では、15名中、4名はαリポ酸のみの摂取によって勃起障害の解消が認められた。

この結果は、4名が糖尿病由来のED患者であることを示している。このようにED患者に対してαリポ酸が有効に働くことが判明している。

αリポ酸には体内に存在して糖代謝に関与する

R体と、そのR体と非天然型S体を50%ずつ含有するラセミ体がある。

同社はR体の安定性と吸収性を高めるため、γCDで包接化したαリポ酸R体・γCD包接体を開発。

サプリメントや治療薬、食品素材として商品化に成功し、技術を広く活用できることを見いだした。